

「農村地域における未利用エネルギー利活用実証研究」に係る 現地見学会

「農村地域における未利用エネルギー利活用実証研究」は、太陽光発電による電気エネルギーを農業用充電ステーションに充電し、電気自動車を紹介して農業用の施設や機械に利用するシステムを構築することを目的に、岩沼市内で実施されています。本実証研究は、既存のエネルギー使用量を低減するほか、電源のない農地での農業用機械の利用を可能とするもので、今後の我が国農業の新たな可能性として、重要な取組となっています。

これらの取組について、農業者を始め、より多くの関係者に紹介し、今後の実証研究の充実と技術の普及促進を図るため、平成27年2月23日に岩沼市内の実証ほ場において、開催されました。

現地見学会では、研究グループによる研究内容の紹介のほか、充電した電気が利用できる電動除草機等の機器の展示・実演が行われ、また、参加した関係者の間で意見交換が行われました。

<主な内容>

- 1) 事業の趣旨等説明
- 2) 実証研究の具体的内容について
- 3) 農業用電動機械等の紹介



太陽光発電



充電ステーションによる電気自動車への急速充電



事業の趣旨説明



可搬型逆浸透膜 (RO膜) 装置への電力の供給

農業用電動機械への充電

※RO膜を3本搭載

(電気自動車→可搬式給電装置→電動機械用電池)



充電した電気が利用可能な農業用電動機械等の紹介